

基礎研 レター

韓国の保険会社の海外進出の 現状や今後の課題

生活研究部 准主任研究員 金 明中
(03)3512-1825 kim@nli-research.co.jp

1—はじめに

少子・高齢化や経済環境の悪化にともない、国内市場が細っていくなかで、韓国の保険会社にとってもグローバル市場での事業展開が重要な課題となっている。今までのグローバル保険市場は、先行者であるプルデンシャルやAIA等の欧米企業が主導しており、後発走者である韓国の保険会社が今後市場占有率を高めるために、解決すべき課題は山積している。本稿では、韓国の保険会社の海外進出の現状や今後の課題について述べていく。

2—韓国の保険会社の海外進出の現状

韓国における保険会社の海外進出は、1970年から始まった。初期には事務所を中心に進出し、海外の金融市場や保険産業の情報を収集・提供するのが主な目的であったものの、2000年代中盤以降は積極的に現地法人を設立することにより、海外での保険営業も展開している。損害保険会社の海外法人数は、2008年の9カ所から16カ所に、また同期間における生命保険会社の海外法人数も、9カ所から11社に増加している。支店や事務所を合わせると、損害保険会社が52カ所、生命保険会社が28カ所で、合計80カ所の営業拠点が設けられている。

表1は、2014年6月時点の韓国の保険会社の海外事務所や支店、そして現地法人の国別現状を示しており、アメリカやイギリスを除けば、ほぼアジア新興国市場をターゲットとして積極的に進出していることがわかる。

会社別¹には、サムスン火災が、ヨーロッパ、アメリカ、シンガポール等11カ国に進出し、21カ所の店舗（現地法人や支店、そして事務所）を運営している。2014年上半期の海外部門の当期純利益は1,922万ドルで1年前に比べて1.6%増加した。

現代海上は、アメリカや日本、そして中国等に10カ所の店舗を運営しており、特に中国での営業実績を高めるために努力している。アメリカでは住宅総合保険を販売する等商品企画の現地化に力を入れている。その結果、海外部門の収入保険料は2006年の391億ウォンから2013年には1,760億ウォン

¹ 会社別実績は、韓国の連合ニュース 2014年6月22日の記事を一部引用している。

ンに 4.5 倍も増加した。

東部火災も、2014 年に中国の重慶市を基盤とする安誠保険の持分 15%を買い取るなど、中国での営業活動を展開しようと準備を整えている。メリッツ火災は、インドネシアにメリッツコリンドを設立し、火災保険や再保険等の営業活動をしている。再保険会社のコリアンリーも、アメリカ、日本、イギリス、シンガポール、ドバイに海外店舗を運営しており、売上に占める海外営業の割合を 2012 年の 22.6%から 2050 年には 80%まで増やすことを目標にしている。

生命保険会社の中では、ハンファ生命（旧・大韓生命）の海外進出が目立つ。ハンファ生命は、ベトナムでの成功をベースに、2012 年にはインドネシアの保険会社、Multicor Life Insurance PT の買収を完了した。これは、韓国の生命保険会社が、M&A を通して海外の保険会社を買収した初めてのケースである。

合計 14 カ所の海外店舗を運営しているサムスン生命は、2005 年に中国の中国航空グループと 50 対 50 で合弁会社を設立、中国人を対象とした保険商品販売に参入し、最近は少しずつ利益が出ている（会社別詳細は付表 1 と付表 2 を参照すること）。

表 1 韓国の保険会社の海外進出の現状（2014 年 6 月末基準）

単位：カ所

	事務所		支店		現地法人		国別小計	
	生保	損保	生保	損保	生保	損保	生保	損保
中国	5	8	-	-	3	4	8	12
タイ	-	-	-	-	1	-	1	-
インドネシア	-	1	-	-	1	3	1	4
日本	3	2	-	1	-	-	3	3
ベトナム	1	5	-	-	1	1	2	6
インド	1	1	-	-	-	-	1	1
ミャンマー	1	-	-	-	-	-	1	-
シンガポール	-	-	-	1	-	2	-	3
UAE(ドバイ)		3						3
アメリカ	4	5	-	5	3	3	7	13
イギリス	2	3	-	-	2	2	4	5
ブラジル						1		1
ロシア		1						1
合計	17	29	0	7	11	16	28	52

出所) ゾンヨンシック・ゾヨンヒョン・チェウオンヨン(2014)「国内保険会社の海外事業評価と提言」の内容を筆者が加筆

3—海外保険市場における占有率や利益はまだ低い水準

韓国の保険会社の海外保険営業は、中国、インドネシア、ベトナム、タイ等の現地法人を中心に推進されており、2014 年 6 月末の海外店舗の総資産規模は、1 年前より 13 億 9,850 万ドル増加した 44 億 6 千万ドルに達している。しかしながら、韓国の保険会社の海外保険市場における市場占有率は、2013 年時点で、ベトナムに進出しているハンファ生命とサムスン火災がそれぞれ 2% (9 位) や 3.75%

(5位)を占めているのが最高水準で、それ以外の地域ではまだ注目すべき成果が出ていない状態である(表2)。

表2 海外に進出した韓国の保険会社の市場占有率や進出方式等

区分		生命保険		損害保険				
		サムスン生命	ハンファ生命	サムスン火災	東部火災	現代海上	LIG損保	メリッツ損保
中国	占有率	0.03%	0.01%	0.10%	-	0.02%	0.02%	-
	進出場所・方式	合弁会社	合弁会社	独立法人	持分投資 :持分率15%	独立法人	独立法人	-
	進出時期	2005年	2012年	2005年	2014年	2007年	2008年	-
ベトナム	占有率	-	2.00%	3.75%	-	-	-	-
	進出場所・方式	-	独立法人	独立法人	-	-	-	-
	進出時期	-	2008年	2003年	-	-	-	-
インドネシア	占有率	-	0.00%	0.47%	-	-	0.32%	0.14%
	進出場所・方式	-	持分投資 :持分率80%	合弁会社	-	-	合弁会社	合弁会社
	進出時期	-	2012年	1997年	-	-	1997年	1998年
タイ	占有率	0.29%	-	-	-	-	-	-
	進出場所・方式	合弁会社	-	-	-	-	-	-
	進出時期	1997年	-	-	-	-	-	-

出所)ゾンヨンシク・ゾヨンヒョン・チェウオンヨン(2014)「国内保険会社の海外事業評価と提言」

韓国の金融監督院が、2014年9月に発表した「2014年上半期生命保険会社海外店舗営業実績」や「2014年上半期損害保険会社海外店舗営業実績」を見ると、海外に進出した韓国の保険会社の営業実績は、依然として低迷していることがわかる。韓国の生命保険会社の2014年上半期の海外での営業利益は、サムスン生命が87万ドルの黒字を出しているが、ベトナムやインドネシアで営業活動をしているハンファ生命は915万ドルの赤字が出ており、まだ投資に対する成果が出ていない状況である(表3)。

表3 海外に進出した韓国の生命保険会社の損益状況

単位:万ドル

会社名	2013年上半期	2014年上半期	増減
サムスン生命	△ 1,304	87	1,391
ハンファ生命	△ 698	△ 915	△ 217
教保生命	1	0	△ 1
合計	△ 2,001	△ 828	1,173

出所)金融監督院(2014)「2014年上半期生命保険会社海外店舗営業実績」

損害保険会社の場合は利益の規模がそれほど大きくはないが、生命保険会社に比べると黒字が出ている会社が多い。2014年上半期の海外での営業利益を見ると、サムスン火災(1,922万ドル)と東部

火災（308 万ドル）、そして現代海上（171 万ドル）とメリッツ損保（5 万ドル）が黒字を出した。一方、2013 年上半期に黒字を出していた LIG 損保はアメリカのマンハッタンのアパート崩壊やカリフォルニアのアパート火災などの大型事故の影響を受け 2,298 万ドルの赤字に転落した。また、再保険会社のコリアンリーも 2013 年上半期の 1,201 万ドルの黒字から 2014 年上半期には 155 万ドルの赤字決算になった（表 4）。

表 4 海外に進出した韓国の損害保険会社の損益状況

単位：万ドル

会社名	2013年上半期	2014年上半期	増減
東部火災	242	308	66
メリッツ損保	26	5	△ 21
サムスン火災	1,892	1,922	30
LIG損保	357	△ 2,298	△ 2,655
コリアンリー	1,201	△ 155	△ 1,356
現代海上	299	171	△ 129
合計	4,017	△ 48	△ 4,065

出所)金融監督院(2014)「2014 年上半期損害保険会社海外店舗営業実績」

4—おわりに

2000 年代中盤以降、韓国の保険会社の海外営業が加速化しているものの、進出国における保険市場の占有率や利益は未だに低い状態が続いている。韓国の製造業がアジア諸国で大きな成果を挙げていることとは対照的だと言える。韓国の保険会社は、なぜ海外で期待した通りの成果を挙げていないだろうか。その原因としては、外国企業に対する目に見えない差別、韓国国内とは異なる市場環境、自国企業に対する強い選好度²、欧米の既進出企業に対する強い信頼感、商品企画の現地化の失敗、韓国の保険会社に対する低い認知度、製造業と比べて信頼を得るためにより長い時間がかかる点などが考えられる。

アジア各国の生命保険市場は、今後さらなる拡大が見込まれており、先行者の欧米企業と後発走者の日本、韓国、アセアン企業等との厳しい競争が予想される。韓国の保険会社がアジアの保険市場で目標通りの成果を挙げるためには、上記に指摘した課題をどのように解決するのかが今後の鍵を握ると言えるだろう。特に、先行者の欧米企業の事例を参考すると、ブランド力や信頼度を高めることや商品に対する消費者ニーズを把握するのが大事である。今後、韓国の保険会社が、どのような戦略で海外の保険市場を開拓していくのか引き続き注目していきたい。

² 2013 年における中国の保険市場の占有率は、中国系の保険会社が生保 94.4%、損保 98.7%を占めており、2009 年の中国系の保険会社の占有率（生保 94.8%、損保 98.9%）と大きく変わっていない。

付表 1 韓国における生命保険会社の海外店舗（現地法人や支店）の現状

会社名	店舗名	進出形態	進出業種	国家名	都市名	設立時期
サムスン (6)	Thai Samsung Life Insurance	法人	生命保険業	タイ	バンコク	97. 06月
	Samsung Air China Life Insurance	法人	生命保険業	中国	北京	05. 07月
	Samsung Life Investment (America)	法人	金融投資業	アメリカ	ニューヨーク	93. 12月
	Samsung Life Investment (U. K)	法人	金融投資業	イギリス	ロンドン	91. 01月
	Beijing Samsung Real Estate	法人	不動産業	中国	北京	12. 1月
	30 Gresham Street (Jersey) Limited	法人	不動産業	イギリス	ジャージー	13. 6月
ハンファ (4)	Hanwha Life Investment	法人	金融投資業	アメリカ	ニューヨーク	05. 8月
	Hanwha Life Insurance (Vietnam)	法人	生命保険業	ベトナム	ホーチミン	09. 6月
	Sino-Korea Life Insurance	法人	生命保険業	中国	杭州	12. 11月
	PT. Hanwha Life Insurance Indonesia	法人	生命保険業	インドネシア	ジャカルタ	12. 12月
教保 (1)	Kyobo Life Asset Management (America)	法人	金融投資業	アメリカ	ニューヨーク	96. 11月

出所)金融監督院(2014)「2014 年上半期生命保険会社海外店舗営業実績」

付表2 韓国における損害保険会社の海外店舗（現地法人や支店）の現状

会社名	店舗名	進出形態	国家名	都市名	設立時期
東部 (2)	グアム支店	支店	アメリカ	グアム	84.10月
	アメリカ支店	支店	アメリカ	ハワイ	06.01月
メリッツ (1)	MERITZ KORINDO INSURANCE	法人	インドネシア	ジャカルタ	98.11月
サムスン (8)	サムスン財産保険 (中国)有限公社	法人	中国	上海	05.04月
	PT. Asuransi Samsung Tugu	法人	インドネシア	ジャカルタ	96.11月
	Samsung Vina Insurance Company Limited	法人	ベトナム	ホーチミン	02.11月
	アメリカ支店	支店	アメリカ	ニューヨーク	90.04月
	サムスン火災ヨーロッパ法人	法人	イギリス	ロンドン	11.03月
	サムスン保険 コンサルティング有限会社	法人	ブラジル	サンパウロ	09.09月
	Samsung Reinsurance Pte. Ltd.	法人	シンガポール	シンガポール	11.12月
Samsung Fire & Marine Management Corp.	法人	アメリカ	ニュージャージー	11.12月	
LIG (4)	PT. LIG Indonesia	法人	インドネシア	ジャカルタ	97.09月
	LIG Insurance China	法人	中国	南京	09.11月
	Leading Insurance Service	法人	アメリカ	ニューヨーク	05.11月
	アメリカ支店	支店	アメリカ	ニューヨーク	90.04月
コリアンリー (2)	WIS(world wide insurance)	法人	中国	香港	96.04月
	シンガポール支店	支店	シンガポール	シンガポール	79.01月
現代 (6)	Hyundai Insurance China	法人	中国	北京	07.03月
	Hyundai Investment America	法人	アメリカ	ニュージャージー	06.09月
	Hyundai. U.K Underwriting	法人	イギリス	ロンドン	97.06月
	日本支社	支店	日本	東京	76.10月
	アメリカ支店	支店	アメリカ	ニュージャージー	94.09月
	Cosmos Risk Solutions Asia	法人	シンガポール	シンガポール	11.01月

出所)金融監督院(2014)「2014年上半期損害保険会社海外店舗営業実績」